

# 基本 B

補充シート

## 小学校の復習 (2)

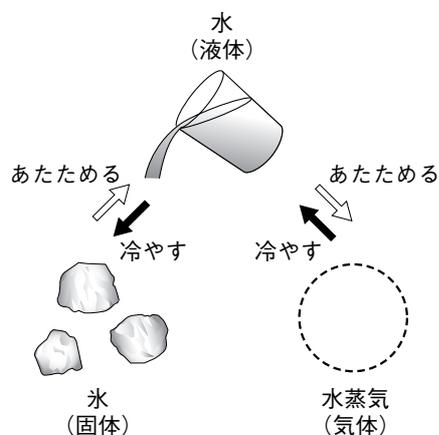
解答と解説

### 解答

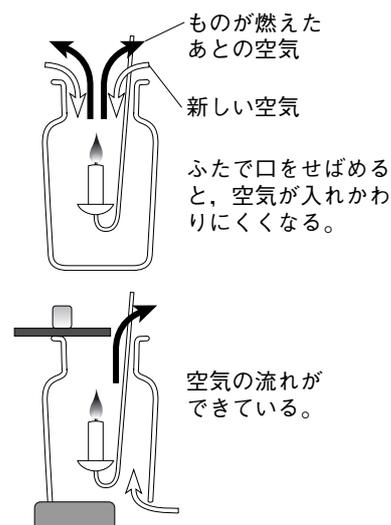
- 1** (1) こおらない。  
 (2) 食塩水(食塩)  
 (3) 0℃  
 (4) ① 固体  
       ② 気体  
 (5) 100℃
- 2** (1) 小さくなる。  
 (消える。)  
 (2) 酸素  
 (3) 二酸化炭素  
 (4) 石灰水を加えてふる。  
 (5) 変化しない。  
 (燃え続ける。)  
 (6) びんの中へ流れる。
- 3** (1) アンモニア水  
 (2) 塩酸  
       炭酸水  
 (3) 食塩水  
 (4) 塩酸  
       アンモニア水  
 (5) 炭酸水  
 (6) 二酸化炭素

### 解説

- 1** (1) 水は、0℃でこおり始めるが、氷だけでは0℃より低くならない。  
 (2) ビーカーの中の水の温度を0℃より低くするためには、氷に食塩水をかければよい。  
 (3), (5) 水は0℃でこおって氷になり、100℃でふっとうして水蒸気になる。  
 (4) 氷のようなものを固体、水のようなものを液体、水蒸気のようなものを気体という。



- 2** (1) 空気が入れかわりにくくなるので、ほのおが小さくなったり、消えたりする。  
 (2) 酸素には、ものを燃やすはたらきがある。  
 (3) ろうそくや木などを燃やすと、空気中の酸素の一部が使われて、二酸化炭素ができる。  
 (4) 二酸化炭素があることを確かめる方法。  
 (5) 空気の入り口が下にあり、出口が上にあるので、ものは燃える。  
 (6) ものが燃えているときには、びんの中に空気が流れこみ、びんの外に空気が出ていく。



- 3** (1), (2) 酸性の水溶液…塩酸, 炭酸水, ホウ酸の水溶液など。  
 アルカリ性の水溶液…アンモニア水, 石灰水, 水酸化ナトリウム水溶液など。  
 (3) 塩酸, 炭酸水, アンモニア水は気体がとけた水溶液なので、蒸発させてもあとに何も残らない。  
 (5), (6) 炭酸水は二酸化炭素が水にとけた水溶液である。二酸化炭素は、石灰水を白くにごらせる。

水溶液	塩酸	食塩水	炭酸水	アンモニア水
とけている物質	塩化水素(気体)	食塩(固体)	二酸化炭素(気体)	アンモニア(気体)